



第1回 ブレストケアチーム ニュースレター

発行者：北條茂幸 乳腺内分泌外科主任部長

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が4月7日に発令され、それに伴い外出の自粛や3密(密閉・密集・密接)を避けるよう呼びかけられました。その間、医療機関によってはコロナウィルスの患者さんの治療を優先するために、がん治療を含めた一般診療を全て休診とした施設もありました。また、乳がんに対する治療が原因でコロナウィルスに感染したのではないかと言われた女優さんが亡くなったとの報道もあり、現在 乳がんに対する治療を受けておられる患者さんには不安を感じている方もおられると思います。

当院でも3密を避けるため、ブレストケアチームが主催する乳腺疾患勉強会も開催できず、患者さんやご家族の情報収集の場をつくれない状況となっています。そこで、今回ニュースレターを発行し、少しでも患者さんと病院が繋がるお手伝いをしたいと思います。

第1回目は、コロナウィルス流行時期における乳がん診療の優先順位についてお話しします。これは欧米の乳がん診療の優先順位基準を参考に日本乳癌学会が作っているものです。しかし、項目が複雑であり 患者さん一人一人 病状が異なりますので、担当医と個々に相談して頂く必要があります。

高優先度

迅速な対応が必要

- 術後出血に対する手術
- 術後皮膚壊死に対する手術
- 高悪性度に対する化学療法
- 既に始まっている化学療法の継続 など

中優先度

治療の遅れが後に命に影響する可能性あり

- 早期がんにて術前ホルモン療法を行い手術時期を遅らせることは可能。
- 術前化学療法から術前ホルモン療法への変更。
- 術後放射線治療は手術、化学療法終了後から6カ月以内に行う。 など

低優先度

緊急性はなくある程度延期できる

- 乳がん検診
- 良性腫瘍の検査、手術
- 非浸潤がんに対する手術
- 術後放射線治療
- 追加切除術
- 高齢者の術後放射線治療は延期または省略できることもある。 など

乳腺疾患勉強会が開催可能となる日までニュースレターを発行していきたいと思っております。ニュースレター以外にも情報をお届けする方法も検討しています。終息に向けて一緒に頑張りましょう。

